

朝鮮語の辞典案内

五十嵐 孔一

1. 日本で発行された辞典

まず日本で発行された主な辞典を見てみよう。

『[朝鮮語小辞典](#)』（宋枝学，1960，大学書林）戦後初めて大手出版社から出た辞典であり，朝鮮語-日本語部(25,000語)と日本語-朝鮮語部(4,600語)からなる。発音記号が付された点に特徴がある。

『[現代朝鮮語辞典](#)』（天理大学朝鮮学科研究室，1967，養徳社）骨格は天理大学朝鮮学科研究室内の安吉保と孫洛範によって築き上げられた。頁数は855ページと少ないが，約12万語を収録している。（[改訂版](#) 1980）

『[精解韓日辞典](#)』（金素雲，1968，ソウル・徽文出版社，[日本では1972](#)，東京・高麗書林）全1,121ページ，収録語彙数は約78,000語（見出し語5,7000，派生語，ことわざ，語尾を含む）。

『[民衆ㄷㅅㅈ日韓辞典](#)』（安田吉実・孫洛範，1973，ソウル・民衆書館，東京・三修社）

『[民衆ㄷㅅㅈ韓日辞典](#)』（安田吉実・孫洛範，1983，ソウル・民衆書林，東京・三修社）この両辞典はその後も版を変え，現在『[全面改訂版日韓辞典](#)』（安田吉実・孫洛範他，2001，ソウル・民衆書林，東京・三修社）と『[全面改訂版韓日辞典](#)』（安田吉実・孫洛範他，2006，ソウル・民衆書林，東京・三修社）が出版されている。

『[朝鮮語大辞典](#)』（大阪外国語大学朝鮮語研究室，1986，角川書店）上下二巻と補巻からなる「朝-日辞典」である。収録語彙数は約21万語で朝鮮語と日本語の対訳辞典としては最大の語彙数を誇る。

『[コスモス朝和辞典\(第2版\)](#)』（菅野裕臣他(共編)，1988/1991，白水社。) 総見出し数が約10,000，総収録語数は約18,000。朝鮮語学習者のために徹底的な配慮がなされている点の特徴である。詳細な文法解説は朝鮮語学研究者も参考にしている。

『[例解新日韓辞典](#)』（林四郎他/金貞淑(編訳)，1992，ソウル・民衆書林，東京・三省堂）『[例解新国語辞典](#)』（1990，第3版，東京・三省堂）の語義解説・用例・表現欄・参考欄などを韓国語に翻訳したものである。収録語彙数は約45,000語。姉妹編に『[例解新韓日辞典](#)』（林四郎他/金貞淑(編訳)，1996，ソウル・民衆書林，東京・三省堂）がある。

『[朝鮮語辞典](#)』（油谷幸利他，1993，小学館）語彙数は約11万語，用例数は約65,000で，共和国や中国朝鮮族の語彙も一部収録されている。初級者のみならず，朝鮮語学習者に必携の辞書であり，最も多く使用されている辞書である。姉妹編に『[小学館日韓辞典](#)』（油谷幸利他，2008，小学館）がある。

2. 韓国で発行された辞典

次に韓国で発行された主な辞典をあげることにする。

- 『[큰 사전](#)』(한글학회, 1947-1957, 乙酉文化社)
 『국어새사전』(国語国文学会, 1958, 東亜出版社)
 『[중사전](#)』(한글학회, 1958, 한글학회출판부)
 『동아새국어사전』(東亜出版社辞書部, 1959, 東亜出版社)
 『[표준국어사전](#)』(申琦澈・申瑢澈, 1959, 乙酉文化社)
 『[소사전](#)』(한글학회, 1960, 正音社)
 『[국어대사전](#)』(李熙昇, 1961, 民衆書館)
 『새한글사전』(한글학회, 1965, 正陽社, 弘字出版社)
 『[우리말 큰사전](#)』(한글학회, 1992, 어문각)
 『[금성판 국어대사전](#)』(金敏洙・高永根・任洪彬・李丞宰, 1992, 金星出版社)
 『[연세한국어사전](#)』(연세대학교언어정보개발연구원, 1998, 두산동아)
 『[표준국어대사전](#)』(국립국어연구원, 1999, 두산동아)
 『[고려대 한국어대사전](#)』(고려대학교 민족문화연구원 국어사전편찬실, 2009, 고려대학교 민족문화연구원)

このうちから次の3つを取り上げて概説する。

『[연세한국어사전](#)』(1998)の最大の特徴は大量の言語資料、つまりコーパスを活用した点である。1960年代以降に書かれた韓国語の文献(18万ページ分, 約3,000万文節)から固有語を除外し, 14回以上の頻度で現われた約5万個の単語と形態素を扱っている。用例にもコーパスに収集された文を提示している。

『[표준국어대사전](#)』(1999)は 국립국어연구원(2004年11月に 국립국어원 に名称変更)が1992年に編纂作業を始め, 1999年10月に上巻, 11月に中巻と下巻が刊行された。収録語彙は50万語で, 7,300ページを超える辞典である。

『[고려대 한국어대사전](#)』(2009)は1992年から編纂が開始され, 17年かけて完成された現在最も新しい大辞典である。全3巻からなり, 7,500ページを超える。1億文節規模のコーパスをもとに4万個の新語を発掘し, 17万4千個の複合語を含む約39万語を収録している。

3. 共和国で発行された辞典

共和国で発行された主な辞典には次のようなものがある。

- 『[조선어 소사전](#)』(조선민주주의인민공화국 조선어 및 조선문학연구소, 1956, 조선민주주의인민공화국 과학원)
 『조선말사전』(조선민주주의인민공화국 과학원 언어문화연구소 사전연구실, 1961-1962, 과학원출판사) ([東京翻印版](#) 1964)
 『[현대조선말사전](#)』(조선민주주의인민공화국 사회과학원 언어학연구소, 1968, 사회과학출판사)
 『[조선문화어사전](#)』(사회과학원 언어학연구소, 1973, 사회과학출판사 어문편집부)

- 『[현대조선말사전 제2판](#)』(사회과학원 언어학연구소, 1981, 과학, 백과사전출판사)
- 『[조선말대사전](#)』(사회과학원 언어학연구소, 1992, 사회과학출판사)
- 『조선말사전』(사회과학원 언어학연구소, 2004, 과학백과사전출판사)
- 『[조선말대사전\(증보판\)](#)』(사회과학원 언어학연구소, 2006-2007, 사회과학출판사)

『[조선말대사전\(증보판\)](#)』(2006-2007)について見てみると、この辞典は『조선말대사전』(1992)(全2巻, 見出し語は約33万個)の増補版であり、約40万個の見出し語を収録した、全3巻からなる辞典である。2006年11月に1巻, 2007年7月に2巻, 2007年9月に3巻が刊行された。この増補版は新語のみならず、『[조선말대사전](#)』(1992)の不正確な点や不合理な点を修正加筆したものである。

5. その他の辞典

その他, 特定の目的で編まれた辞典には多くの種類があるが, ここでは以下の辞典をあげておく。

- 『[동아 새 漢韓辭典](#)』(東亜出版社編集部, 1990, 東亜出版社)
- 『[한국어 표준발음사전](#)』(이현복, 2002, 서울대학교출판부)
- 『[한국어 학습 학습자용 어미·조사 사전](#)』(이희자·이중희, 2006, 한국문화사)
- 『[李朝語辭典](#)』(劉昌惇, 1964, 延世大学校出版部)

『[동아 새 漢韓辭典](#)』(1990)は中型の漢韓辞典で、全2,432ページからなり、約14,500の表題字と6万を超える表題語を収録している。訓(字義の解釈)と音の他、韻字、四声、現代中国音、日本語の音と訓、字体、字解、用例、字源や豊富な表題語も掲載されている。

『[한국어 표준발음사전](#)』(2002)で言う標準発音とは韓国の標準語であるソウル方言の発音を意味する。全1,111ページで、日常生活でよく用いられる単語を中心に、人名・地名・学術用語・専門用語など、約78,000の単語(用言では一部の語尾の付いた形を含む)を収録している。

『[한국어 학습 학습자용 어미·조사 사전](#)』(1997)は全536ページで、語尾・助詞の他、慣用句や縮約形など、約900の見出し語を収録している。韓国語教育用コーパスを利用し、容易で典型的な用例を多く掲載しているところがこの辞典の特徴である。その日本語訳版に『[韓國語文法語尾・助詞辭典](#)』(五十嵐孔一・申悠琳(共訳), 2010, スリーエーネットワーク)がある。

『[李朝語辭典](#)』(1964)は全830ページ、見出し語は約32,000語、文献提示語は約61,000語を収録しており、巻末の付録には吏読と参考図書略解がある。この辞典はその後も版を多く重ねて刊行されている。

(2011年1月現在。五十嵐孔一記)